

**答弁** ①一人あたりの介護費用は県下四十六市町村の中で十三番目とかなり高いランクとなっている。

②六十五歳以上の方々がボランテニアをしていただくことにより、介護保険への意識が高揚して介護給付の増嵩につながらないようになるのではないかと思うので、このアイデアについては早急に検討したい。

③保険料は、平均四千五百円であるが、これも非常に高い額である。次の市長においても、これを引き上げることのないよう、できれば下回るよう、給付費の適正化に向け、ケアプランの点検等チェックを厳しく行っていくきたい。

### 学校教育環境格差是正について



好士崎 勝

**質問** 私は、平成十七年、十八年、そして今回、学校教育環境施設の整備等について質問し、意見を述べてきた。現在までどのように改善されたのか。また、学校統廃合の問題があることは十分承知している、狭隘な教育環境施設については、喫緊の課題として早急に対

処すべきと考えるが、教育長の見解を伺います。

**答弁** 過去、教育環境の整備について質問を受けているが、その中でも特に、議員から指摘を受けていた理科室と家庭科室の併用解消については、学校からの要望により、年次的に改修を進めているところである。本市では、このように、学校施設整備等について、日常的恒常的に教育活動に支障を来している部分があれば、学校長からの要望に基づき、協議の上、対応していくというシステムを取っている。今後、要望があれば、個別に精査し対応していきたい。

### 消防団支援優遇制度について



永山 伸一

**質問** 市民の消防団に寄せる期待と役割は益々大きくなってきているが団員の高齢化及び減少に歯止めがかからない現状である。今後の消防団の活動活性化と団員確保策としての団員支援優遇制度への取組と今後の計画について伺います。

**答弁** 消防団支援優遇制度は平成十二年四月に鹿児島県消防協会が創設した制度であり、ホテル、ゴルフ場、レンタカー等割引制度があるが利用率が低いため、本年五月に消防団員等による消防団員支援優遇制度推進協議会を立ち上げ、研究しているところである。また、消防団協力事業所制度を積極的に推進し、事業所の協力体制も万全のものにしていく必要がある。それから、消防団員であるという自覚と誇りを促し、さらに意識の高揚につながるために、消防団員証の交付、バッジの貸与を次期市長に消防団士気高揚の政策の一つとして進めていただきたい。

**質問** 十代の思春期の頃は、第二次性徴が始まり、身体が子どもから大人へと変化する時期で、心の発達には仲間関係、異性関係の悩みや自立をめぐる親子間の葛藤など学童期までとは違った新たな発達課題をもたらす。このような思春期に生じる心理的問題や身体的問題などに対応できる思春期外来

### 思春期外来設置について



中島 由美子

**質問** 思春期の思春期の頃は、第二次性徴が始まり、身体が子どもから大人へと変化する時期で、心の発達には仲間関係、異性関係の悩みや自立をめぐる親子間の葛藤など学童期までとは違った新たな発達課題をもたらす。このような思春期に生じる心理的問題や身体的問題などに対応できる思春期外来

の設置はできないか。

**答弁** 思春期のそういう相談に産婦人科に行くのとまたま知り合いに出くわしたりと非常に気も遣われる。そういう面で、市内で産婦人科のほか十幾つかの診療科目のある済生会川内病院が行きやすいということなので、川内市医師会等との連絡協議会、小児科産科医連絡会を定期的に開催している中で、問題提起をし解決できないか協議していきたい。また、産婦人科のある済生会川内病院に気軽に相談ができるような窓口をもうけていただけませんか相談したい。

### 網津踏切拡幅改良について



寺脇 幸一

**質問** 鉄道踏切事故が起きたら大参事になると過去の本会議で危険踏切である、水引小下、上川内本城、網津踏切の三ヶ所を市長に質問して参りました。市長の判断により水引小下は歩道橋に、上川内本城踏切は今年八月に完成している。三ヶ所目の網津踏切については、狭く見通しも悪く夏場は特に海に行く車の往来も多いことから